

北葛だより

みっちゃんの宅配便

今井光子の県議会だより

日本共産党奈良県議会議員団

奈良市登大路町30奈良県議会内 Tel 0742 (27) 5291

今井 光子 広陵町馬見北3-4-25 Tel&Fax 0745 (55) 8725

メールアドレス: mituko38@amber.plala.or.jp



2月定例県議会報告

ムダを削って県民のいのち、暮らし、平和優先に!

4793億1000万円の予算可決

今年度予算は、高校普通教室へのエアコン設置、精神障害者医療費助成、学校給食の地産地消推進など住民要望も盛り込まれたものの、基本は国の社会保障切り捨て、大企業優遇、大軍拡を反映し、首都圏に奈良県のレストランを出店するのに1億6100万円も使いながら、一方、日々の食料の調達にも苦勞している「買い物難民」への支援対策はなし。「地方創生」の名のもとに、自衛隊誘致に5300万円、リニア新幹線の調査2300万円、高級ホテル誘致に6億9800万円。職員給与は長期にわたり引き下げ継続、人員削減を続け、景気回復にはつながりません。

今井光子県議が反対討論

2月定例県議会最終日、今井光子議員が本会議で反対討論。73議案中、一般会計当初予算案など13議案に反対、あとの議案には賛成しました。主な議案と反対理由は次のとおり。

●○○○

- 教育長を任期の半ばで教育委員から退任させ、知事が任命する「教育長」に変更する条例→国の教育基本法の改正をうけたものではありませんが、3年もの任期を残して変更するのは、教育の政治的中立に反するものであり反対
- 介護保険法改正にともなって要支援の居宅サービスを切り捨てる条例に反対
- 県立大学の独立行政法人化の条例→教育、研究分野は独立行政法人化になじまないとして反対
- 中小企業近代化資金、小売業高度化資金貸付4件の債権放棄の議案→昭和52年に貸し付けて昭和56年以降の返済がまったくなかったものを34年も放置していたものの権利放棄。あまりにすさんだ対応だと指摘して反対

2015年度奈良県予算にみなさんの声がみのりました

- ・運転免許更新時の高齢者講習手数料を引き下げる
- ・大和川総合治水対策、内水対策のカルテを作成し、とりくむ
- ・公契約条例を市町村に普及推進する
- ・鳥獣害対策、ジビエ処理施設を補助
- ・学校給食地産地消促進計画をつくり推進
- ・子どもの貧困対策計画の策定
- ・放課後児童支援員研修
- ・特別養護老人ホーム新設、増床8施設(定員390床)
- ・放置林解消活動の推進
- ・治水対策として田んぼダムの推進
- ・若年者就業実態調査の実施

5月21日

3月議会が終了しました。お水取りも終わって、いよいよ春です。馬見丘陵公園のチューリップフェアが4月12日から開幕です。真美ヶ丘ニータウンの開催で、古墳も守れと保存運動が起き、故羽根田一郎さん(戦前の治安維持法で強圧を受け、その後、広陵町議としても平和と住民こそ主人公の運動を貫いた先賢)らが「広陵古文化会」をつくり、住民が守ってきた公園です。これからつくろうという時から様々な意見を届け続けてきました。駐車場、トイレが少ない、雨の時のお弁当を食べる所を、バスの乗り入れができるようにと、1つひとつ良くなってきました。大和郡山市にスライムピアをつくるため、フラワーパークが馬見丘陵公園に機能移転してきました。お花がいっぱい増えて、うれしいですね。

関西広域連合「部分参加」の方針変更をただす

予算委員会

関西財界がすすめる関西広域連合で住民の暮らしは決して良くならない

今井 これまで加入しないと言ってきたのに、突然、防災、観光の2分野の「部分参加」を表明した理由は何か?

知事 井戸兵庫県知事が来県し、「連携」をすすめているので「参加」も同じと言われた。鳥取県も部分参加で、県の負担は2800万円/年。それぐらいなら、おつきあいの範囲であり、いいかと思った。

今井 積極的な理由を感じない。子どもの貧困対策予算が160万円からみると2800万円は大変なお金ではないのか。議会では2年間、特別委員会を設置して調査してきたが、関西財界がすすめた広域連合で、住民の暮らしからはかけ離れるばかり。原発再稼働も推進、リニア促進など悪い方向ばかり。今でも連携をして、できているのであり、加入の必要はない。

●予算委員会に質問する今井光子議員



予算委員会 ハイライト

憲法9条をもつ国・ 日本で 軍事基地のない唯一 の県・奈良 これこそ世界に輝く 奈良県になる

奈良県に自衛隊誘致のための予算、国が400万円をつけました。奈良県は新年度に5300万円をつけました。

県民には自衛隊県内誘致は「防災対策」との説明しかされていないのです。

自衛隊が海外で戦争に参加できる法整備を自民、公明の政府与党がすすめる中、「防災対策」のためというなら、自衛隊基地の誘致ではなく、県独自の「防災拠点づくり」をおこなうべきです。

*

・今、日本では米軍と自衛隊基地の共同利用がすすんでいて、日本にある米軍基地と自由に使える自衛隊基地あわせて205カ所もの基地は米軍が自由に使用可能となっています。

・五條市は、米軍の低空飛行訓練ルート「オレンジルート」で愛媛-高知-和歌山



●太い実線の①が米軍戦闘機の訓練ルート「オレンジルート」。②から④、そのまますぐ先に奈良県五條市があります。

(一五條)と、五條市がちょうど延長線上にあります。(地図参照)

・奈良県は国にたいして、「奈良県上空ならヘリコプターの訓練ができる」とアピールして自衛隊基地の県内誘致を要望していますが、安倍内閣の新年度予算ではオスプレイ5機を購入します。奈良県上空がオスプレイの訓練場にされてしまいます。

・今、市町村では自衛隊加入年齢・18歳~27歳の名簿の提出や、住民票の閲覧などがすすんでいます。

*

今井議員は、これらのことを指摘して、自衛隊基地誘致をやめ、憲法を生かし、日本で唯一軍事基地がない「平和な奈良県」を発信し、世界に輝く奈良県と呼びかけました。

知事は、オスプレイのことは良く分からない。南海トラフ巨大地震に備えて自衛隊基地の誘致はすすめていくと答弁しました。

ムダを削れば県民の願い実現の予算を組むことができます

日本共産党県議団が14億円の「予算組み替え提案」

日本共産党奈良県議会議員団は、議員提案件を行使して、総額14億円の「予算組み替え提案」を2月議会に提出しましたが、県政与党の会派、議員の反対で否決されました。

共産党議員団の提案は、県民の要望の強い、子ども医療費助成制度を通院も中学校卒業まで拡大すること、医療費の窓口でのいったん全額立替をしなくてよい仕組みに切り替えることや高すぎる後期高齢者医療保険料の引き下げ、家庭用太陽光パネル設置補助の復活、一般住居リネーアルへの助成、これらを実施するために、議員歳費を3割カット、大企業県内立地への特別な支援金をやめる、農業大学校を改編して料理人を養成する

学校とホテルを併設する事業を取りやめるなどして14億円をねん出するというものです。日本共産党の予算組み替え提案は、県民合意がされていない事業や不要不急の事業を見直せば、県民が切実に求めているいくつかの事業は、すぐにも実現することができるということを示すものです。

議会が終わって街頭では、ある党の議員は「共産党はできもしないことを言っている」と宣伝していますが、共産党の予算組み替え提案は県知事や議員がやる気になれば県民要求を盛り込んだ予算を編成することができることを示していると同時に、議員の宣伝のでたらめさを示しています。



願いのあるところ どこへでも 今井光子のフォトレポート

今井光子県議の活動を写真でレポートします。議会報告活動、災害をうけたところの視察、政府や県当局への要望活動など全県的に走り回っています。

日本共産党奈良県議会議員団が2014年秋から取り組んだ暮らしのアンケートは3200通を超す返信があり、切実な願いと要求が書き込まれていました。

日本共産党の5人の県議団と地方議員33人は、介護保険や国保、子育て支援などの要望をまとめ、県の担当課に申し入れました。【写真：上】

また、同じように土木事務所、近鉄、奈良交通、URなどへも要望しました。



周産期医療センター、母子医療センターがつくられて、大きな喜びと期待のなかでフル稼働中。

日本共産党県議団は訪問し、現状と課題についてうかがいました。【写真：右】



今井議員の政策や論戦、議会質問にご意見、要望をお寄せください